エイプラス・デザイン コミュニティ（事務所通信）Vol.26 ●発行日/2018年1月1日 ●発行/株式会社エイプラス・デザイン 一級建築士事務所

※本印刷物の全部または一部を無断で複写・複製転載等を禁じます。

株式会社エイプラス・デザイン　一級建築士事務所

新年あけまして おめでとうございます

株式会社エイプラス・デザイン
代表取締役 佐藤 昌樹

2018年の新春を迎え、皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。新しい年の始まりに際し、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は、建設費高騰に悩まされつつも、業界としては好調な一年でした。当社としても、その波になんとか乗り遅れずに好調な一年を過ごすことができました。これも皆様のご愛顧のおかげと、社員一同感謝しております。

昨年より、水戸・つくば・東京の3拠点体制となりましたが、その結果、仕事のエリアも仙台から大阪まで拡大して活動をさせていただきました。2、3年前まで関東だけだったのが、嘘のようです。また、場所の拡大だけでなく、建築設計を中心にコンサルティングなど業務内容も少しずつ拡大することができています。

ここ2年ほど取り組んでいる海外事業も、やっと軌道に乗ってきた感じです。海外の提携設計事務所との協働をどのようにしたらよいか、紆余曲折を経ながらも少しずつ見えてきました。現在はアウトソーシングがメインの動きですが、いずれは海外案件の設計まで広げていきたいと思っています。

以前から力を入れてきたまちづくりに関しても、昨年はトピックスがありました。水戸のど真ん中に「まちなか・スポーツ・にぎわい広場（通称M-SPO）」が立ち上げりましたが、弊社はそこのプロジェクトマネジャーとして、全体の企画・設計・工事・運営に関して様々な提案と調整をお手伝いしました。ここは、地元のプロバスケットチーム「サイバーダイン茨城ロボッツ」が中心となり、水戸市と共同で立ち上げましたが、従前の補助金等とは異なり、官と民とがガッチリ協力し合ってできる新しいまちづくりだと思っています。この場所は、私が子供のころよく行った商業施設があった場所で、20年以上も空き地でしたが、まちのど真ん中に新しい機能を生み出すことに携わることができて、とても幸せでした。

今年もこれらの動きをさらに強固なものとすべく、社員一同努力を続けてまいります。さらに、従前からの建築設計を行うだけでなく、軸足はあくまでも建築におきながらも、もっと社会に貢献できる方法がいくつもあるのではないかと考えています。今年はグループ内の企業と連携して、さらに新たな展開も模索していくつもりです。

エイプラス・デザインはサービス業の原点を忘れず、常にお客様の最大利益を考え追及してまいります。本年も引き続きエイプラス・デザインをご愛顧いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年水戸まちフェス「水戸のまちをつくちゃおう！」

Under Construction

現在進行中の弊社設計物件の一部をご紹介します。

三階躯体の工事中

勝倉小学校校舎改築工事監理業務委託

●建築地／ひたちなか市　●担当／鈴木・前田

小学校の校舎の建て替えです。昨年３月末から着工した現場は、現在建方がほぼ終わり、建物の形が見えてきました。設計は別の会社が行ったため、弊社では監理業務を行っており、まずは内容を頭に入れる作業から始めました。既存建物に挟まれた狭いスペースに建設するため、児童や学校利用者との接触事故等を起こさないよう工事の動線計画に細心の注意を払いながら工事を進めています。※建方 現場において構成材を組み立てること。

木造軸組み工事完了（29年11月末）

小幡地区公民館新築工事 工事監理業務委託

●建築地／石岡市　●担当／池田

９月に着工した「小幡地区公民館」です。石岡市の旧八郷町小幡地区には、今まで公民館がありませんでした。地元の公民館を待ち望んでいた地域の方々も、竣工する来春を楽しみに待っています。地域の皆さんに愛される建物ができるように、施工者と共に頑張っています。

東面外観イメージ

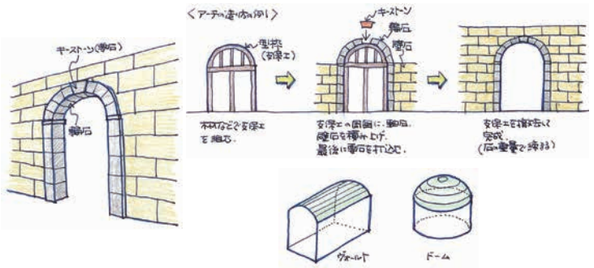
建築家 池田 洋の Architect's Column

[ローマの繁栄はアーチ構造から]

数年前にローマに行った時、石で造られた巨大な建築物に圧倒されました。巨大なだけではなく、2000年近く前に造られた建築物が、今でも日常的に使われていることが驚きでした。その時代は、日本では弥生時代に相当すると考えると、ローマ人の技術力の高さが想像できます。

ローマに限らず、石造りの建物で良く目にするのは、アーチ状に石を積上げた建物です。その代表的な造り方は、下のイラストを見ていただきたい思いますが、パンテオンも、コロッセオも、サン・ピエトロ大聖堂も、みんなアーチやその応用でできています。アーチを連続した物がヴォールトと呼ばれるカマボコ状の建物、回転させたものがドームということになります。

古代ローマ以前にもアーチは存在していましたが、そのほとんどが地下構造物に限定されていたそうです。



コロッセオにて。多数のアーチの組合せでできている。闘技場として使われなくなってからは、サン・ピエトロ大聖堂などの建設のための「都市の採石場」になったという側面も。

サン・ピエトロ大聖堂のドーム。アーチ構造を回転させるとドームになる。

初めて地上の建物でアーチを多用したのが古代ローマ人と言われています。

ローマを訪れ、朝日の中に初めて巨大なコロッセオを見た時の興奮は、今でも忘れられません。（同時に、この建物の中で多くの人の血が流されたことも忘れてはいけないと思いました）

現在の「鉄筋」に相当する建材がなかった当時は、アーチ建築の発達がローマに繁栄をもたらせたといっても過言ではないでしょう。アーチ構造を使った水道橋を築造できたことで、ローマの人口はさらに増えることになりました。

ローマ建築を支えたもうひとつの建材に「ローマン・コンクリート」がありますが、これについてはまた別の機会とさせていただきます。

百聞は一見にしかず。まだほんの少ししか見ていない世界を、これからもたくさん見てみたいと思っています。

[個別相談受付中] お問い合わせは 株式会社エイプラス・デザインまで

APLUS DESIGN Inc.
株式会社 エイプラス・デザイン
一級建築士事務所

株式会社 エイプラス・デザイン
一級建築士事務所
フリーダイヤル 0120-65-6556

[水戸事務所]　〒310-0021 茨城県水戸市南町1-3-23 カナザワビル3F
Tel.029-227-3361　Fax.029-302-2793
[つくば事務所]　〒305-0047 茨城県つくば市千現2-1-6 つくば研究支援センターA-7
Tel.029-875-5595　Fax.029-856-5596
[東京事務所]　〒301-0021 東京都中央区日本橋茅場町2-2-8
Tel.03-6661-7823　Fax.03-6661-7824
http://www.aplus-design.jp/

各事務所新年ご挨拶　謹んで初春のお慶びを申し上げます

本社 水戸事務所

水戸の街の中が寂しくなったと言われ続けて、長い時間が経ってしまいました。駅前の店舗の撤退が決まったなどと、暗いニュースばかりが目立っております。

しかし、毎年秋に中心商店街をメインに行われている「水戸まちなかフェスティバル」では、約10万人の人々が集まり、旧ユニー跡地にオープンした「M－SPO」も新たな活性化の起爆剤として期待されています。このふたつのプロジェクトにも、私たちは積極的に参加しています。

早春の梅、秋の色づいたイチョウや紅葉など、素晴らしい環境に恵まれた水戸の中で、建築の設計だけではなく、さらに積極的に街の賑わいに貢献していきたいと考えています。

専務取締役　池田　洋

旧年中は皆様に大変お世話になり無事に新年を迎えることができました。おかげさまで仕事も忙しく、慌ただしく過ごしていたため、１年があっと言う間にが過ぎ去っていったように感じました。

毎年、少しでも余裕を持った一日を過ごせればと思いますが、なかなかむずかしいですね。もうすこし仕事の効率を上げ、時間を作れるようになれたらいいなと思います。

伊井　和久

少し先ではありますが、あと半年ほどで私がエイプラス・デザインに入って丸３年になります。それまでに何ができるだろうか、その時に何かを達成しているだろうか、いや、今更焦ってもしょうがない(笑)それに毎年初めに「今年こそは！」と目標を立てますが、いつの間にか忘れてしまいますし。なので今年は具体的な目標を立てません。その代わり、今その時受け持っている仕事(遊びも)に全力で取り組んでいきたいと思います。

鈴木　崇也

皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。

私事ですが、入社して２回目の年明けと共に24回目の誕生日を迎えました。月日が経つのは早いものだと感じる今日この頃です。昨年は、入社２年目の年となり、任される仕事の量も増え、仕事一つ一つに対する責任の重さを痛感した年でした。今年は昨年以上の経験を積み、より一層、成長できるように日々精進して参りたいと思います。

清水　昂太

お正月太りを何とかして解消したいと考えている今日この頃です。

昨年４月にエイプラス・デザインに入社し、９か月が経ちました。図面を描いたり、現場に行ったり、毎日新鮮なことばかりであっという間の９か月でした。私の入社と同じころに始まった工事も着々と進行しています。どんどん建物が出来上がっていく過程を見ていると建築ってすごい！と改めて感じます。

2018年は、お客様に素敵な空間を提供するための引き出しをたくさん作っていく年にしたいと思っています。

前田　若菜

私事ですが、今年、自宅が築30年を迎えます。新築時の家族のうきうきした雰囲気や出来事を思いおこすと今でも幸せな気分になります。

長い付き合いになった我が家に感謝の気持ちをもって、ていねいに暮らすことを今年は心がけようと思います。

また、様々な分野でそれぞれの人生に寄り添い、支える建築づくりを裏方ながらお手伝いできることを、改めてしみじみ有り難く思います。きめ細やかなサポートができるよう心配りしていきたいです。

佐々木　恵

突然ですが、皆様は2017年、どんな一年だったでしょうか？

私ごとですが、20歳後半を目前に、だんだんと時が過ぎていくのが早く感じられるようになってきました。2019年５月には元号が代わり、2020年には東京オリンピックと、めまぐるしく時が過ぎていく気がします。

そんな今、昨年から心がけていることですが、今年も継続して「小さなことでも目標を掲げて達成する」ことと、それにプラスして「一日一日をより美しく大切に」を心がけて過ごしていきたいと思います。

新年もまた皆様を“笑顔”でお迎えできる準備をして、お待ちしております。

小松﨑　瞳

私の2017年は、今までになく、あっという間に通り過ぎた一年で、気が付くと新年を迎えていました。特に劇的な何かがあった年ではないですが、何事もなく、無事に一年を過ごせて感謝しています。

昨年は仕事で茨城県内全域を訪れる機会があり、初めて訪れる場所や、久しぶりに訪れた場所など、新しい発見が多々あり、移動が好きな私は、楽しみながらお仕事をする事ができました。そしてやっぱり茨城が一番好き♡と思えた一年でした。

エイプラス・デザインを通して、大好きな地元に貢献できるように、今年も走り回りたいと思います。

黒澤　愛

つくば事務所

旧年中は、大変お世話になりありがとうございました。

県南エリアは、県央道の最終区間が開通し、さらに活気を増しています。

昨年春より、つくば事務所も４人体制となり、機動力が大幅にアップしました。また年末には、２人の建築士が誕生し、穏やかな中にパワーを秘めた若者の姿に感動をもらった一年でした。

本年は、建築以外の分野にも研鑽を積み、広い視野を持って皆様にお逢いできますよう、努力する所存でございます。

所長　友常　奈津子

最近気づいたことですが、これまでの私は、建築だけの狭い視野でしか建築士の仕事をみていなかったと思います。世の中の流れ・諸問題等、私達の生活のなかの一部に建築があるもので、全ての分野と密接に繋がっていることを忘れていたと思います。視野を広げれば、私達が社会に貢献できる仕事はもっとあるのではないかと感じています。

今年は、「建築の知識を深める」ことを基軸とし、「建築以外を勉強し仕事の幅を広げる挑戦」の二つの目標で頑張ります。

副所長　宮本　崇雄

入社してから早くも２回目の年越しを迎えました。昨年と比べると倍以上の仕事を任されるようになり、やりがいのある充実した日々を過ごしております。宙に浮いた状態で足をつかせても前に進まないような状態だった入社当時から、ようやく地面に足が着き歩き出せている状態へと成長しているなと実感しております。今年はさらに、先輩社員達に追いつけるように日々精進してまいります。

小堤　康平

今年も無事に新しい年を迎えることができて、ホッとしております。

昨年は社会人となり、初めて知る事や、経験する事の連続でした。今は仕事の厳しさと同時に、面白さを感じ始めております。まだまだ未熟ではございますが、お客様に喜ばれる仕事が、少しずつできるように努力していきたいと思います。最後になりましたが、新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

鈴木　友貴

東京事務所

昨年は酉年という事で「商売繁盛」の年と言われていますが皆様におかれましてはいかがでしたでしょうか？桃太郎ではありませんが申年、酉年、そして今年は戌年と仲間が揃う年です。来年は亥年ですので突き進むための準備の年とも言えるでしょう。元号改正、オリンピック再開催など時代の変化を迎えています。変化に対応できるようしっかりと力を蓄える１年にしていきたいと思います。

取締役　原田　大一

昨年は格別のご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。本年も東京事務所一同、微力ながらもご支援いただいております皆様のお力になれるよう精進していく所存です。

昨年は東京事務所で企業主導型保育所の設計を数件させていただきました。昨年は一昨年の募集回数の半分ほどで締め切りとなってしまいました。これは予算の縮小ではなく申込数の増加による影響です。それだけ注目されていたと思えます。また、当初は2017年末に「待機児童ゼロ」とする計画でしたが、2020年度末まで延長されました。それまでに約32万人分の受け皿整備が必要とのことです。現時点では来年度のことなのでハッキリとはしておりませんがおそらく募集がされるのではと考えております。もし、企業主導型保育所にご興味がございましたら弊社にお問い合わせください。

所長　亀田　駿介

おととしの12月に水戸事務所から東京事務所に移り、丸１年が過ぎました。東京事務所では東京都内を中心に、日本全国の案件を扱っているため、茨城県内の案件を主に扱っていた水戸事務所時代とは勝手が違うことが多くあり、昨年は戸惑いあたふたする1年でした。今年はもう少し落ち着いて、事前の情報収集をしっかりと行い、イレギュラーな事態にも冷静に対応できるよう努めていこうと思います。また、東京都内には有名な建築物や美術館等が多くあるため、今年はそういったものに積極的に触れて目を養い、デザインの表現の幅を増やしていきたいです。

石橋　拓也

昨年は弊社の先輩方やお客様のおかげで、入社してから今日までとても学ぶことの多い充実した日々を送ることができました。新人ゆえに苦戦する部分も多々ありましたが、まわりの方々に支えられて新年を無事迎えられることをうれしく思います。今年はより多くを学び、そして昨年学んだことを活かせる年になるよう励んでいきたいと思いますので今後もよろしくお願いいたします。

長野　晃人

顧　問

昨年を振り返って、当社に取っても私に取っても最も大きな出来事は、水戸市立見川小学校の実施設計を受託したことです。

当社にとって最大級のプロジェクトであったことはもちろんですが、私にとっても、２人の子供の母校としてお世話になった学校であり、自宅も小学校に隣接していることから、感慨深いものがあります。

未来を担う子供たちの教育の場として、当社の技術を結集して全力で取り組んでまいる所存でございます。

神山　光男

昨年度の劣化度調査業務において、昭和50年代の県公共施設調査を行ったことは、感無量のものがありました。奉職していた当時は高等学校・庁舎等の新築ラッシュでしたので40数年後に見られるとは思いもよらない感激でした。

施設は良く保守されていても耐用年数があり経年劣化等の調査が不可欠となります。計画的更新が必要であると感じました。今後共、業務に全力で取り組んでまいります。

金川　政雄

電気設備設計の顧問をしています。

通常行う業務は現場監理や電気設計図書のチェックなのですが、昨年は建物の劣化度診断という仕事に取り組むことになりました。ある物件は、築30年余年を経過する間、増築・改修を繰り返したため、全体像をつかむのに四苦八苦しました。終わってみれば、推理小説の謎解きをしているようで面白い仕事でした。様々な電気設計図面を見ていると、建築と同じく電気設計にも個性があるのがわかります。今年もどんな図面に巡り合えるか楽しみです。

丹内　一雄

本年もよろしくお願い致します　APLUS DESIGN STAFF一同